

入院前に中止の検討が必要な薬剤一覧

●薬効群別●

2026年3月 [Y004-08] 薬剤科・麻酔科

【対象薬剤群】

- ① 抗血小板薬、抗凝固薬(出血リスク)
- ② 骨粗鬆症用剤(SERM)(血栓症リスク)
- ③ 低用量ピル、卵胞ホルモン製剤、黄体ホルモン製剤(血栓症リスク)
- ④ ビグアナイド系薬剤(乳酸アシドーシス、腎機能低下リスク)
- ⑤ SGLT-2阻害薬(ケトアシドーシスリスク)
- ⑥ VEGF阻害剤(創傷治癒遅延リスク)
- ⑦ 免疫抑制剤、JAK阻害剤、生物学的製剤(術後感染リスク など)
- ⑧ 飲酒量低減薬(オピオイド系鎮痛薬作用減弱リスク)

手術や処置の各種リスク(出血、血栓形成、感染)、投与中疾患の治療状況を考慮して、入院前中止を検討しています。

【薬剤選定条件】

- ・添付文書に休業期間が明記されている薬剤
- ・メーカーへ個別に確認した薬剤
- ・添付文書に周術期に関する注意喚起がされており、リスクが高いと考えられる薬剤

上記条件以外の左記薬剤群を投与中の場合にも、リスク評価、入院前中止検討を行っています。

※低用量ピル: 自費購入もできるため聞き取り時に注意が必要です。

●薬効群別一覧●

抗血小板薬						
	アスピリン	オメガ-3脂肪酸エチル	サルボグレラート	ドルナー	プラスグレル	ベラプロスト
	アスピリン腸溶錠	キャピリン配合錠	ジピリダモール	ニトギス配合錠	プラビックス	ペルサンチン
	アンブラーグ	クロピドグレル	ジラゼブ	バイアスピリン	ブリリント	リマプロストアアルファデクス
	イコサバント酸エチル	ケアロードLA	シロスタゾール	バスサミン配合錠	プレタール	ロコルナール
①	エパデール	コメリアンコーワ	タケルダ配合錠	パナルジン	プロサイリン	ロトリガ
	エフィエント	コレキサミン	チクロピジン	パファリン配合錠	プロレナール	ロレアス配合錠
	オパルモン	コンプラビン配合錠	トラピジル	ファモター配合錠	ベラススLA	
抗凝固薬						
	イグザレルト	プラザキサ	リクシアナ	ワーファリン		
	エリキュース	ヘパリン カルシウム皮下注	リバーロキサバン	ワルファリンK		
②	骨粗鬆症用剤(SERM)					
	エビスタ	バゼドキシフェン	ビビアント	ラロキシフェン		
低用量ピル						
	アリッサ配合錠	シンフェーズ	ファボワール	ヤーズフレックス配合錠	ルナバル配合錠	
	アンジュ	トリキュラー	フリウェル配合錠	ヤーズ配合錠		
	ジェミーナ配合錠	ドロエチ配合錠	マーベロン	ラベルフィーユ		
③	卵胞ホルモン製剤					
	ウェールナラ配合錠	エストリール	ダイホルモンデポー注	プリモジアンデポー筋注	ベラニンデポー筋注	ル・エストロジェル
	エストラーナテープ	エストリオール	ディビゲル	プレマリン	ホーリン	
	エストラジオール	ジュリナ	プラノバル配合錠	プロギノンデポー筋注	メノエイドコンビパッチ	
	黄体ホルモン製剤					
	エフメノ	ヒスロンH	メドロキシプロゲステロン			
④	ビグアナイド系薬剤					
	イニシンク配合錠	グリコラン	メトアナ配合錠	メトホルミン		
	エクメット配合錠	メタクト配合錠	メトグルコ	メホビル配合錠		
⑤	SGLT2阻害薬					
	カナグル	ジャディアンス	スージャヌ配合錠	デバルザ	フォシーガ	
	カナリア配合錠	スーグラ	ダバグリフロジン	トラディアンス配合錠	ルセフィ	
⑥	VEGF阻害剤					
	アバスタチン点滴静注	オフエブ	サイラムザ点滴静注	スチバーガ	ネクサバル	ラバリムス
	インライタ	カプレルサ	ザルトラップ点滴静注	スニチニブ	フリユザクラ	レンビマ
	ヴォトリエント	カボメティクス	スーテント	トーリセル点滴静注	ベバズマブ点滴静注	
⑦	生物学的製剤					
	アクテムラ静注/皮下注	エンブレル皮下注	サフネロ点滴静注	トシリズマブ静注	ビンゼレックス皮下注	
	アダリムマブ皮下注	オレンシア静注/皮下注	シムジア皮下注	トルツ皮下注	ベンリスタ静注/皮下注	
	イルミア皮下注	ケブザラ皮下注	シンポニー皮下注	トルミア点滴静注/皮下注	ルミセフ皮下注	
	インフリキシマブ点滴静注	コセンティクス皮下注	スキリージ点滴静注/皮下注	ナノゾラ皮下注	レミケード点滴静注	
	エタネルセプト皮下注	ゴリムマブ皮下注	ステララ点滴静注/皮下注	ヒュミラ皮下注		
	JAK阻害剤					
	オルミエント	ジセレカ	スマイラフ	ゼルヤンツ	リンゾック	
	免疫抑制剤					
	アザニン	シクロスポリン	タクロリムス	ブレディニン	ミコフェノール酸エチル	リウマトレックス
	イムラン	セルセプト	ネオール	プログラフ	メトトレキサート	
⑧	飲酒量低減薬					
	セリンクロ					

入院前に中止の検討が必要な薬剤一覧 ●五十音順●

2026年3月 [Y004-08] 薬剤科・麻酔科

【対象薬剤群】

- ① 抗血小板薬、抗凝固薬(出血リスク)
- ② 骨粗鬆症用剤(SERM)(血栓症リスク)
- ③ 低用量ピル、卵巣ホルモン製剤、黄体ホルモン製剤(血栓症リスク)
- ④ ビグアナイド系薬剤(乳酸アシドーシス、腎機能低下リスク)
- ⑤ SGLT-2阻害薬(ケトアシドーシスリスク)
- ⑥ VEGF阻害剤(創傷治癒遅延リスク)
- ⑦ 免疫抑制剤、JAK阻害剤、生物学的製剤(術後感染リスク など)
- ⑧ 飲酒量低減薬(オピオイド系鎮痛薬作用減弱リスク)

●五十音順一覧●

【ア】

アクテムラ静注/皮下注
アザニン
アスピリン
アスピリン腸溶錠
アダリムマブ皮下注
アバスタチン点滴静注
アリッサ配合錠
アンジュ
アンブラーグ
イグザレルト
イコサバント酸エチル
イニシク配合錠
イムラン
イルミア皮下注
インフリキシマブ点滴静注
インライタ
ウェールナラ配合錠
ヴォトリエント
エクメット配合錠
エストラジオール
エストラーナテープ
エストリオール
エストリール
エタネルセプト皮下注
エパデール
エビスタ
エフィエント
エフメノ
エリキュース
エンブレル皮下注
オパルモン
オフエブ
オメガ-3脂肪酸エチル
オルミエント
オレンシア静注/皮下注

【カ】

カナグル
カナリア配合錠
カブレラサ
カボメテイクス
キャブピリン配合錠
グリコラン
クロピドグレル

【カ行続き】

ケアロードLA
ケブザラ皮下注
コセンテックス皮下注
コメリアンコーワ
ゴリムマブ皮下注
コレキサミン
コンプラビン配合錠

【サ】

サイラムザ点滴静注
サフネロー点滴静注
ザルトラップ点滴静注
サルボグレラート
ジェミーナ配合錠
シクロスボリン
ジセラカ
ジピリダモール
シムジア皮下注
ジャディアンス
ジュリナ
シロスタゾール
シンフェーズ
シンボニー皮下注
スーグラ
スージャヌ配合錠
スーテント
スキリージ点滴静注/皮下注
スチパーガ
ステラーラ点滴静注/皮下注
スニチニブ
スマイラフ
セリンクロ
セルセプト
ゼルヤンツ

【タ】

ダイホルモンデポー筋注
タクロリムス
タケルダ配合錠
ダバグリフロジン
チクロピジン
ディビゲル
デベルザ
トリーセル点滴静注
トシリズマブ静注

手術や処置の各種リスク(出血、血栓形成、感染)、投与中疾患の治療状況を考慮して、入院前中止を検討しています。

【薬剤選定条件】

- ・添付文書に休薬期間が明記されている薬剤
- ・メーカーへ個別に確認した薬剤
- ・添付文書に周術期に関する注意喚起がされており、リスクが高いと考えられる薬剤

上記条件以外の左記薬剤群を投与中の場合にも、リスク評価、入院前中止検討を行っています。

※低用量ピル:自費購入もできるため聞き取り時に注意が必要です。

【タ行続き】

トラディアンス配合錠
トラピジル
トリキュラー
トルツ皮下注
ドルナー
トレムフィア点滴静注/皮下注
ドロエチ配合錠

【ナ】

ナゾラ皮下注
ニトギス配合錠
ネオーラル
ネクサバール

【ハ】

バイアスピリン
バゼドキシフェン
バツサミン配合錠
パナルジン
バファリン配合錠
ヒスロンH
ビビアント
ヒュミラ皮下注
ビンゼレックス皮下注
ファボワール
ファモター配合錠
フォシーガ
ブラザキサ
プラスグレル
プラノバール配合錠
プラビックス
フリウエル配合錠
ブリモジアンデポー筋注
ブリュザクラ
ブリリント
プレタール
プレディニン
プレマリン
プロギノンデポー筋注
プログラフィ
プロサイリン
プロレナール
ペバシズマブ点滴静注
ヘパリン カルシウム皮下注

【ハ行続き】

ベラサスLA
ペラニンデポー筋注
ベラプロスト
ペルサンチン
ベンリスタ静注/皮下注
ホーリン

【マ】

マーベロン
ミコフェノール酸モフェチル
メタクト配合錠
メトアナ配合錠
メトグルコ
メトトレキサート
メトホルミン
メドロキシプロゲステロン
メノエイドコンビパッチ
メホビル配合錠

【ヤ】

ヤーズフレックス配合錠
ヤーズ配合錠

【ラ】

ラバリムス
ラベルフィーユ
ラロキシフェン
リウマトレックス
リクシアナ
リバーロキサバン
リマプロストアアルファデクス
リンヴオック
ル・エストロジェル
ルセフィ
ルナベル配合錠
ルミセフ皮下注
レミケード点滴静注
レンビマ
ロコルナール
ロトリガ
ロレアス配合錠

【ワ】

ワーファリン
ワルファリンK